

ほすびたる

No.770

令和 6 年 1 月 20 日
福岡県病院協会

C O N T E N S

新年の挨拶 年頭のごあいさつ 福岡県知事 服部誠太郎 ①

新年を迎えて 公益社団法人福岡県医師会 会長 蓮澤 浩明 ②

年頭のご挨拶 公益社団法人福岡県病院協会 会長 中村 雅史 ③

会員広報 第13回福岡県病院協会 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会報告 公益社団法人福岡県病院協会 専務理事 平 祐二 ④

新 人 物 院長就任のご挨拶 医療法人碧水会門司田野浦病院 病院長 後藤 貞夫 ⑫

病院管理 当院での医療安全の取り組み
～特にTeamSTEPPS SBARに関して～ 福岡赤十字病院 副院長・医療安全推進室長 永井 英司 ⑬

子宮頸がん予防（HPV ワクチンと子宮がん検診）についての啓発活動
～当院での取り組み～ 公立学校共済組合九州中央病院 婦人科部長 衛藤 貴子 ⑮

看護の窓 自分で学ぶ人を育てていく
ための環境づくり 地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院 看護部長 香西江利子 ⑮

Letter 龍、竜、ドラゴン、そして辰 国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 顧問 朔 元則 ⑳

E s s a y 人体旅行記 乳房（その十九） 国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之 ㉒

■福岡県私設病院協会 令和 5 年 11 月～ 12 月の動き ㉓

■福岡県病院協会だより ㉔

■編集後記 岡嶋泰一郎 ㉟

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスを提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 江頭啓介

専務理事 佐田 正之
理事 原 寛
理事 陣内 重三
理事 牟田 和男

理事 津留 英智
監事 松村 順
監事 中尾 一久
事務局長 日比生英一



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



年頭のごあいさつ

福岡県知事

服部 誠太郎



新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人福岡県病院協会の皆さまには、日ごろから地域医療の向上や県民の健康増進にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、エネルギー価格や原材料価格の高騰対策等を実施するとともに、7月の梅雨前線豪雨災害に伴う、被災箇所の迅速な復旧、被災された皆さまの生活支援、農林漁業・商工業者の皆さまの事業再開・継続の支援などに全力で取り組みました。

そして、前を向き、世界を見て、未来を見据えて、福岡県を成長・発展させていくため、「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」、「福岡半導体リスクリングセンター」、「水素大規模拠点の構築」などの新たな取り組みをスタートさせました。

今年は辰年です。県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一に、「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」に取り組み、天をかけ昇る竜のように勢いよく、福岡県の成長・発展を加速させてまいります。

県では、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる2025年に向け、あるべき医療提供体制の姿を明らかにするとともに、その実現に必要な

る施策を示した「地域医療構想」に基づき、医療機能の分化・連携などを進めています。

また、本年4月からの「第8次保健医療計画」の策定に向けて、5疾病・6事業および在宅医療などに係る医療提供体制の構築について、医療審議会をはじめとした各協議会でご検討いただいているところです。

貴会には、医療審議会や各区域における地域医療構想調整会議などを通じて、貴重なご意見をいただいておりますことをこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

県としましては、県民の皆さまがいつでも、どこでも、安心して必要な医療サービスを受けることができる医療提供体制、地域包括ケアシステムの構築に取り組むとともに、県民の皆さまの「健康寿命」を延ばし、生涯にわたり長く元気に暮らしていくため、県民一人一人が改めて自身の健康について考え、健康の維持、増進に取り組んでいく「ふくおか健康づくり県民運動」を着実に進めていきます。

貴会におかれましては、引き続き、中村会長のもと、県の取り組みへの一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年が貴会ならびに会員の皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。2024年が災害の無い穏やかな年でありますよう願っています。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月より感染症法上の位置づけが「5類」へと移行し、感染症対策が個人の判断に委ねられることになりました。完全収束には至っていませんが、発生件数はかなり少なくなってきました。3年以上に及ぶ新型コロナ対応では、医療従事者の皆様には、医療現場の第一線で多大なるご尽力を頂きましたことに心から感謝申し上げます。2024年度からの第8次医療計画には、今回の経験を基に、新興感染症への対応が記載されることとなります。なお、この冬はインフルエンザをはじめとした多種類の感染症が流行しております。ワクチンの積極的な接種を呼びかけるとともに注意喚起等が必要です。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

今年は、6年に一度のトリプル改定や医師の働き方改革など、大きな節目を迎えます。2024年度診療報酬改定に関しまして、昨年12月15日に、政府は「薬価を1%程度引き下げ、報酬本体の改定率を0.88%増、ネット改定率はマイナス」とする方針を固めました。賃上げ・処遇改善、入院患者の食費見直し、物価高騰への対応等々、多くの課題があった今回の改定ですが、その評価については、マイナス0.25%分の効率化・適正化も合わせ、これから示される内容を精査する必要があります。

施行が迫っている医師の働き方改革では、4月より時間外労働の上限規制が適用され、各医

公益社団法人福岡県医師会

会長 蓮澤 浩明



療機関では必要に応じて従来の勤務体制を改めて見直す必要があります。この改革により、特に救急医療や産科医療における夜間、休日の医療提供体制への影響が懸念されていますが、医師の健康を守りつつ、これまで構築してきた医療提供体制を維持するために、宿日直許可取得を推進していかねばなりません。そして県民には、働き方改革について、理解と協力を頂く必要があります。

今、日本医師会は組織強化を喫緊の課題として会員増強に取り組むため、昨年6月に常任理事を4名増員しました。福岡県医師会も日医と歩調を合わせ、医学部卒後5年目までの研修医及び勤務医の会費無料化を実施し、県内4大学をはじめ各臨床研修病院へ、未入会医師の入会促進を行っているところであります。

少子・超高齢社会が急速に進み、医療を取り巻く環境が大きく変化していく中、開業医も勤務医も、そして診療所も病院も、全ての医師が一致協力して地域医療の充実に向けて取り組んでいく必要があります。そして、これからの我が国の医療の在り方や医療政策について、国への提言を行っていかねばなりません。

2024年は医療界にとって大きな変革の年となりますが、今後も県民へ安心・安全な医療を実現できる医療提供体制の構築、医療・保健・介護・福祉の向上ならびに医療界発展のために最善を尽くしてまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

新しい年の幕開けに当り、謹んでご挨拶申し上げます。

先ずは、元旦の能登半島地震で被災された方々、2日の羽田国航空機事故に遭われた方々、そして3日の北九州大火災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。2019年末に発生した新型コロナ感染症が本年5月に5類相当の区分となり、足掛け4年間にわたり続いたパンデミックもようやく社会的に収束しつつありますが、大変な年明けになったと思われることと思います。

病院運営においても苦難の道は続いており、病床稼働率等の回復が完全でない状況下でのコロナ補助金打ち切りや、働き方改革に伴う人件費の増加、エネルギー価格高騰、医療材料費や外注労役費等の諸物価高騰、さらに円安に加えてインフレに伴う人件費の上昇等、医療機関の経営は非常に厳しい状況に直面しています。九州大学が行った全国の国立大学病院へのアンケートに於いても、42病院中33病院が赤字に陥っていました。ここ数年の懸案であった医師の働き方改革もいよいよ本年4月より実施されます。

運営上の問題に加えて、心の悩み・不安により体調を崩す職員が増加していることもコロナ後の病院運営の大きな課題となっているのでは

公益社団法人福岡県病院協会
会長 中村 雅史



と思います。九大病院では教職員のメンタルヘルスに関する相談を受けることを主目的として「職員健康管理センター」を昨年開設しました。令和5年4月に開設以来、令和5年9月末までに303件の対応をしており、このような仕組みが求められていたことを痛感しています。

このような状況下にあって、病院協会の役割は益々重要になってきています。コロナ・パンデミックによって阻害された情報の流入を再活性化し、各医療施設の職員間の情報共有を促進するという設立時の目的が、いまこそ求められています。「人間万事塞翁が馬」と申しますが、社会全体にも当てはまるのではと思います。パンデミックの後遺症から回復すべく行われる病院協会の活動によって、コロナ以前よりも病院間の情報共有や連携が優れた医療圏になるべく尽力して参りたい所存です。

2024年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」は十干の最初の文字で物事の始まりを象徴し、「辰」は力強く権力の象徴ともされています。そして「甲辰」には、成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味合いがあります。コロナで毀損した医療システムが、姿を変えて優れたものに進化していくことを祈念します。



第13回 福岡県病院協会 参与・各種委員会 正副委員長・役員懇談会報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 平 祐二

日 時 令和5年12月5日（火）17：00～18：00
場 所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション3階
オリエンタルボールルーム恵比寿
（福岡市博多区博多駅中央街4-23）
出席者 病院協会参与7名（うち役員の再掲1名）、
各種委員会正副委員長12名、役員25名
（うち委員長の再掲1名） 計42名

中村会長が挨拶の後、座長となって議事を進めました。

1 参与の紹介（平専務理事）

当日出席された参与（大和日美子参与、後藤渉参与、吉田龍太郎氏（上原洋介参与代理）、井上正義参与、中西裕二参与、鶴加寿子氏（下崎千加参与代理））の方々を順次御紹介し、参与からは簡単に挨拶いただきました。

2 第14回県民公開医療シンポジウムの報告

運営委員長 一宮 仁
国家公務員共済組合連合会浜の町病院 顧問

2023年9月2日（土）の14時から福岡市のアクロス福岡・国際会議場で第14回県民公開医療シンポジウムを開催しました。

福岡県病院協会は地域医療の普及向上と県民の健康増進に寄与することを目的として設立され、県民公開シンポジウムは、県民に医療に関する正しい情報を直接伝えるとともに参加者からの質問や要望に答えることで、県民の健康増進につながる重要な事業の一つとして位置付けられています。毎年1回、福岡、北九州、筑豊、筑後の各ブロック持ち回りで開催しており、2020年は福岡ブロックの国家公務員共済組合連合会浜の町病院が担当することになっておりましたが、2019年の北九州での開催以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために中

止・延期を繰り返してきました。

2020年以来、シンポジウムのテーマを「めざそう！“元気で長生き”～健康長寿のヒント～」として計画してきました。この3年間のコロナ禍で、受診控えや検診率の低下による進行がんの増加、生活様式の変化による脳卒中のリスクの増加、外出制限や運動不足による運動能力の低下、平均寿命の縮みなども報告されていますので、今回は、改めて、生命を脅かしたり、長い療養生活により健康寿命の延伸を阻害する疾患である、がん、脳血管障害、そして生き生きとした日常活動を維持するための関節・骨疾患について、それぞれの分野で経験豊富な松浦隆志先生、岡田 靖先生、馬渡太郎先生に予防や治療について判りやすくご講演をいただきました。

新型コロナウイルス感染症は5月に5類移行となりましたが終息にはほど遠く、参加人数の予測もできないまま、感染防止対策を施しての開催となりました。参加者は109名でコロナ禍以前とほぼ同数で、幸いなことに、密にもならず空席も目立ちませんでした。参加者の86%が60才以上、3/4が女性で、将来の医療・疾病推計を反映しているように思いました。3つの講演に対して会場からの数多くの質問があり、演者から適切な回答をいただきました。事後のアンケートでは判り易かったが94%、ちょうど良い時間（長さ）が85%を占めましたが、もう少しテーマを絞って詳しくとのご意見もあり、次年度以降の参考にしていだければと思います。

今回はメディアを通じての配信も検討しましたが、課題も多く叶いませんでした。素晴らしい講演で参加者の満足度も高く、より多くの県民の皆様にお聞きいただき健康増進に役立てて欲しいと思いますので、今後も引き続き検討いただきたいと思います。

結びにあたり、今回のシンポジウムでご講演いただいた先生方ならびに座長の先生方はもとより、ご協力いただきました事務局職員の皆様、浜の町病院のスタッフの皆様、協会役員ならびに所属機関のス

スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

座長 公益社団法人福岡県病院協会 専務理事
医療法人原三信病院 理事長
平 祐二

3 各委員会からの報告

ア) 病院研修会

病院委員会 委員長 壁村 哲平
福岡県済生会二日市病院 院長

病院研修会は福岡県病院協会の病院長をはじめとする病院幹部、特に医師を対象にして、種々の問題を共有し議論することを目的に、平成25年（公益法人化の機会）に発足した委員会です。講演のテーマは、平成25年度の「地域医療ビジョン」から、毎年「とびうめネットの開始に向けて」、「医療事故調査制度と院内医療安全」、「熊本地震の救援活動における実情と課題」、「災害医療研修会－福岡県で災害が発生したら－」、「医療機関に求められるBCP～最終責任者は病院長～」として毎年1度講演会を開催してきました。しかし、コロナ感染症のパンデミックにより、令和2年度の「医師の働き方改革～働き方改革は勤務医の在り方をどのように変えるか？～」を最後に休会となっていました。今回、再開するにあたり、多くの病院の抱える課題を広く議論する目的で、看護部門、事務部門方々にも参加を呼びかけさせていただきました。本年度は2024年2月7日（水）九州大学医学部百年講堂大ホールで『業務効率化への取り組み ～人と人がつながる時間を増やすために～』をテーマに開催いたします。新たな病院研修会に多くの病院幹部皆様の参加を期待しています。

令和5年度『業務効率化への取り組み ～人と人がつながる時間を増やすために～』

I 基調講演

「診療報酬改定から見た業務効率化について」

講師 (株)グローバルヘルスコンサルティング部門 シニアマネージャー

塚越 篤子

座長 社会医療法人製鉄記念八幡病院 病院長
古賀 徳之

II 特別講演

「福岡県看護協会の取組

～業務効率化を主眼に～」

講師 公益社団法人福岡県看護協会 会長
大和 日美子

III シンポジウム

「業務効率化に係る現状及び課題について」

講師 福岡赤十字病院 院長 中房 祐司
社会医療法人財団白十字会白十字
病院 病院長 瀧野 泰秀
産業医科大学病院 副院長兼看護部長
大松 真弓

福岡和白病院 副院長兼事務部長
田上 真佐人

座長 公益社団法人福岡県病院協会 顧問
国立病院機構東医療センター 名誉院長
上野 道雄
公益社団法人福岡県病院協会 企画理事
福岡県済生会二日市病院 院長
壁村 哲平

イ) 看護研修会

看護委員会 委員長 大松 真弓
産業医科大学病院 副院長・看護部長

少子・超高齢社会に伴い、医療提供体制は大きく変化し、なかでも看護を取り巻く背景は「医療・介護のニーズの増大」「医療者の確保困難」の状況で、2025年問題への対策として全世代型の地域包括ケアシステムの構築を目指しています。そして、看護委員会では、さまざまな場で働く看護職の看護実践能力の強化を支援し、生涯にわたって切れ目のない看護提供体制を構築し、あらゆる場で看護を提供できる人材を育成する役割を担い、継続した研修企画を行っております。

令和5年度の看護委員会研修では、安全で質の高い看護を提供できるように看護実践能力や看護管理能力の向上を目的に研修を企画しました。5月8日に新型コロナウイルス感染症も「5類感染症」へ移行になったとはいえ、今年度も感染予防対策を講じながら開催いたしました。また、オンデマンド配信では、当日配信と後日1週間の配信期間を設けたことで、繰り返し視聴できたり、多くの方に参加していただくことができました。主な内容は、診療報酬に関する内容でニーズも高い「認知症看護実践力向上研修」や「看護補助者の活用推進のための看護管

理者研修」と、「Z世代の効果的な育成・受け取りやすい指導～Z世代を知り、大きく育てる～」をテーマに、コロナ禍で臨時実習の経験知が少ない新人看護師教育について学ぶ機会となりました。どの研修の受講生の満足度は高く、今後も診療報酬に関する内容とアンケート結果から受講生のニーズに合った内容を企画する予定です。

【令和5年度】

①第167回看護研修会(令和5年7月27日開催)

会 場 ナースプラザ福岡

テーマ 「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2022」

講 師 日本看護協会役職員、ファシリテータ
福岡県病院協会看護委員会委員

共 催 公益社団法人福岡県看護協会

参加者 100名(人数限定)

②第168回看護研修会(令和5年8月28日・29日開催)

会 場 九州大学医学部百年講堂

テーマ 「認知症看護実践力向上研修Ⅵ」

講 師 福岡大学病院神経内科医師 合馬慎二
久留米大学病院老人看護専門看護師
首藤敏夫
飯塚病院認知症看護認定看護師

瓜生矩子

九州大学病院認知症看護認定看護師

立石 圭

国家公務員共済組合連合会浜の町病院

認知症看護認定看護師 星野清子

医療法人相生会金隈病院

認知症看護認定看護師 宮原あや

参加者 213名

③第169回看護研修会(Web開催)

セミナー配信 令和5年9月22日(金)

13:25～15:30

(質疑応答) 15:30～15:45

オンデマンド配信 令和5年9月23日(土)

～令和5年9月28日(木)

テーマ 「Z世代の効果的な育成・受け取りやすい指導～Z世代を知り、大きく育てる～」

講 師 (有)AEメディカル
代表取締役 野津浩嗣

参加者 255名

ウ 診療情報管理研究研修会

診療情報管理研究委員会 委員長 西山 謙
九州大学病院 病院長特任補佐

【研修会】

- 本年度より岩崎理事が新しく担当となり、増本理事・岩崎理事のもと研修会活動を行うこととなる。
- コロナ禍の令和2～4年度はWEB開催となった。
- 令和5年度は対面研修を令和6年2月に予定している。
- 病院間の情報共有を含めた診療情報管理業務の底上げを目的とし、研修会の充実を図っている。

【令和5年度の予定研修内容】

〔日時〕 令和6年2月15日(木)

13:00～17:00

〔場所〕 九州大学 百年講堂 大ホール

- テーマを「アフターコロナを考える診療情報」とし、病院機能評価でもクローズアップされる質的監査についても研修、情報共有を深め、日々の業務改善に少しでも繋がることを期待する。

【今 後】

- 働き方改革への対応・医療DXの推進が始まり、生成AI・RPAの活用が広がっている。診療情報管理の業務の在り方を模索し、各病院にフィットできる転換期になろうとしている。
- 医療機関の実務者の課題は多くあり、福岡県の診療情報管理における分野を本研修会が貢献できるようにチームワークで盛り立てていきたい。

【参 考】

当研修会が取り扱う一例(キーワード)

- 診療情報・記録に関すること
(病名、サマリ含む)
- 電子媒体・紙媒体の記録
(保管/スキャン含む)
- 医療安全に関する記録
- 病院経営に関する診療情報

- DPC 等の保険診療に関する診療情報・記録
- 医療の質に関する診療情報・記録
(がん登録含む)
- データの精度管理 (コーディング含む)・
データ二次利用

エ) 栄養管理研修会

栄養管理委員会 委員長 倉橋 操
福岡大学病院 栄養部技師長

令和5年10月14日、第71回栄養管理研修会をWEB開催いたしました。今回の研修会のメインテーマは、「最新の高齢者に対する栄養管理」です。近年日本の人口構造は変化しており、急速な高齢化が進んでいるのが現状です。高齢者は、身体的、精神的、かつ環境適応などの能力が減退するというような加齢変化に加え、味覚変化、歯の喪失、咀嚼嚥下機能・消化酵素活性の低下などの生理的变化により摂取量の減少や消化・吸収能力の低下が起こり、低栄養状態に陥りやすくなるため、多職種で連携した栄養管理が重要となります。今回は、糖尿病や腎疾患を有する高齢者の栄養管理に対する新しい知見、情報について医師、管理栄養士の立場から3名の先生方にご講演いただきました。参加人数は102名でした。会の中でアンケート調査を行いました。結果を報告いたします。職種の内訳は管理栄養士(94.1%)、看護師(3.9%)、医師(1.0%)、栄養士(1.0%)でした。研修会の内容は、「とても良い」「良い」が各講義で90%前後と高評価でした。アンケート回答は前回同様にWEB方式で記述意見が多くみられ、とても参考になったなどの声が多く今回の研修会が実り多い会となったのではと感じております。次回の研修会で希望されているテーマは「低栄養」が最も多く、次いで「がんの栄養管理」でした。WEB開催に関する意見もあり、今後、研修内容や開催方法等は、アンケート結果を踏まえて参加者にとって満足度の高い研修会となるよう計画していきたいと思っております。

オ) 臨床検査研修会

臨床検査委員会 委員長 森 健一
社会医療法人財団白十字会白十字病院 臨床検査技師部部长
新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日より5類感染症となり対応が変化しています。その後もまだ感染者数は多くなり、医療現場では大変な

状況が続いていましたが、最近になりようやく減少傾向で落ち着いてきました。感染症の影響や他団体活動も多くなり、今年度の当委員会の活動が進んでいない状況です。今後の予定について報告いたします。研修会は、多くの皆様に参加して頂けるように、より良い内容や開催形式を考え今後も開催していきます。

<第1回臨床検査研修会> 開催予定

日時：2023年12月15日(金) 16:30～

場所：アーバンオフィス 第二会議室(博多駅東)

<第8回臨床検査研修会> 開催予定

年度末開催予定(開催日時、内容、会場未定)

カ) リハビリテーション研修会

リハビリテーション委員会 委員長 梅津 祐一
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長

令和5年度第1回リハビリテーション研修会

開催日：令和5年10月7日(土)

会 場：九州大学医学部百年講堂

参加者：97名

テーマ：「リハビリテーション領域におけるリスク管理」

研修のねらい：安全管理の意義は「医療の質」と「患者の安全」の保障による患者の身体的保護、医療者の法的保護、医療機関の経営的保護にある。診療上の事故発生を最小限に抑えることで「医療の質」を保ち「組織の損失」を防ぎ、「患者の安全」と「医療者の安心」を確保することを目的に研修を行う。

基調講演：リハビリテーション領域におけるリスク管理の重要性

講師 産業医科大学リハビリテーション

医学講座 教授 佐伯 寛 先生

シンポジウム：「リハビリテーションにおけるリスクマネジメント」

(1) リハビリテーション部門管理者の立場から

講師 夫婦石病院 リハビリテーション部
部長 永友 靖 氏

(2) リハビリテーション看護の視点から

講師 聖マリアヘルスケアセンター

主任看護師 藤本梨佐 氏

(3) 作業療法士の視点から

講師 関西福祉科学大学保健医療学部
准教授 有久勝彦 氏

(4) 言語聴覚士の視点から

講師 福西会病院 リハビリテーション科 占部晴樹 氏

4 講演の後、活発な質疑応答が行われた。

◎基調講演においてリハビリテーション診療上重要なリスク管理をわかりやすく解説していただいたのち、現場ですぐに役立つ内容になるシンポジウムを企画した。参加者のニーズに合い総じて好評であった。

令和5年度第2回リハビリテーション研修会 (予定)

開催日：令和6年3月27日(水)

会 場：九州大学医学部百年講堂

テーマ：「リハビリテーション領域における診療報酬、介護報酬同時改定のポイントと対策(仮)」

キ) 経営管理研究会

経営管理委員会 委員長 中島 克洋
福岡県済生会福岡総合病院 事務部長

1 令和5年度委員会開催報告

令和5年度第1回経営管理委員会
(令和5年11月30日開催)

協議事項 ・委員の交代について
・令和5年度第1回経営管理研究会の開催について
・その他

2 研究会開催報告

令和4年度第1回経営管理研究会

・開催日時 令和5年2月8日(水)
14:00～16:30

・会場 Web 開催

・テーマおよび講師、座長

第一部 「我が国の医療政策の動向について
(オンライン)」

講師 内閣府大臣政務官

参議院議員 自見はなこ 先生

座長 公益社団法人福岡県病院協会 担当理事
国立病院機構小倉医療センター

院長 山下博徳 先生

第二部 「2024年トリプル改定、第8次医療計画、医療のDXを含めて今後の医療の方向性について」

講師 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院
理事長 神野正博 先生

座長 公益社団法人福岡県病院協会 担当理事
社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長 津留英智 先生

・参加者 60人

3 研究会開催予定

令和5年度第1回経営管理研究会

・開催日時 令和6年3月4日(月)
15:00～17:00

・会場 九州大学医学部百年講堂

・テーマおよび講師

「2024年度診療報酬改定について」(仮)

講師 社会医療法人天神会 総病院長
島 弘志 先生

ク) 医療事務研究会

医療事務委員会 委員長 三島穰史
国家公務員共済組合連合会新小倉病院 医事課長

<令和4年度の活動>

令和4年度の「第122回医療事務研究会」は久しぶりに九州大学医学部百年講堂大ホールで開催が来ると準備をしておりましたが、新型コロナ第8波の影響によって、またしてもオンラインでの開催となりました。開催日は令和5年2月15日(水)、テーマは『医療事務のデジタル化!! ～RPA活用の人材不足・残業業務削減の対応～』、講師はRPAテクノロジーズ(株)代表取締役社長の大角暢之氏、福岡赤十字病院企画推進課の平井里衣氏、九州大学病院メディカル・インフォメーションセンターの坂井清太郎氏の3名で、座長を福岡和白病院IT推進室課長の守屋周一氏にお願いいたしました。会員、非会員合わせて77名の参加でした。Q & Aを「ほすびたるNo.765」に掲載しています。

【第122回医療事務研究会】

開催日：令和5年2月15日(水)

会 場：Web 開催

テーマ：『医療事務のデジタル化!!』

～RPA活用の人材不足・残業業務削減の対応～

座 長 福岡和白病院 IT 推進室
課長代行 守屋周一 氏

講演Ⅰ 「日本一わかりやすい RPA 本質 !!
～デジタルレイバーの可能性～」

講 師 RPA テクノロジーズ(株)
代表取締役社長 大角暢之 氏

講演Ⅱ 「診療情報業務への RPA 導入効果と
課題」

講 師 福岡赤十字病院
企画推進課 平井里衣 氏

講演Ⅲ 「病院情報システムにおける事務系
業務への RPA の取り組み」

講 師 九州大学病院 メディカル・インフォ
メーションセンター 坂井清太郎 氏

＜令和5年度の活動＞

令和5年7月21日にアーバンネット博多ビル会議室において第1回医療事務委員会を開催し、「委員の交代について」、「委員長を選任について」と「第122回医療事務研究会の報告」および「第123回医療事務研究会の開催について」を議題に話し合いを行いました。開催日・場所とテーマを以下の通り決定いたしました。

【第123回医療事務研究会】

開催日：令和6年3月28日(木)

場 所：九州大学医学部百年講堂 大ホール

講 師：(株)リンクアップラボ

代表取締役 酒井麻由美 氏

テーマ：「2024年診療報酬改定の概要と対応」(仮)

4 参与のご意見

ア 大和日美子参与（福岡県看護協会 会長） のご意見

- 来年度は、今年以上に変化の年になります。更にコロナ禍前に戻り病院等の活動が活性化するとともに、医療・介護・福祉のトリプル改定があり、その動向が注目されます。夫々が、変化に合わせ戦略を練っていかれると思います。医師の働き方改革に関しても、時間外労働上限

規制が設けられますが、各種医療職がどう協働していくかが課題であると考えています。来年度良い取組をしている病院の話を聞く機会があれば幸いです。

これから、さらに働く人口、総人口が減少していく局面に入るので、2040年に向けた病院協会の施策、何に取り組み、この時代をどう乗り切るかに向けた研修会等の企画立案をしていただけたら、皆さんのためになるのかなと考えています。

イ 後藤渉参与（福岡県薬剤師会 副会長）のご意見

- 福岡県薬剤師会の一番大きな課題は、医薬品の供給になっており、様々な局面でご迷惑をおかけしていると思います。まだしばらくこの状態が続くと思われます。電子処方箋についても、厚労省からの取組は出されていますが、小さい病院では全然進んでおらず、これも大きな課題と位置づけています。

医師の働き方改革を進めていくためには、タスクシフト、タスクシェアを様々な職種で取り組むべきと位置づけられていますが、薬剤師会としても、病院薬剤師を中心にタスクシフト、タスクシェアをサポートする研修を今開いています。多職種で仕事をしていく上で、薬剤師の活用も大きな部分になりますので、薬剤師会を含めご指導をいただければと思っています。

ウ 吉田龍太郎氏（西日本シティ銀行上原参与の代理）のご意見

- 研修にあったZ世代がキーワードになっており、銀行でも30代、入行して6、7年目の職員の離職率は4割くらいと、大変高くなっています。ただ、このことは全産業に共通しており、医療・介護の皆様も、離職率が高いと認識されていると思います。

医療・介護・福祉は、人間が生活していく上ですごく大事なものと思っています。しかし、従事してくれる人がいなければ、近くの診療所で受診や入院ができないというような状況がここ数年で現実的に起こってくるのではと少し心配しています。

若い人たちにとって医療が魅力のある分野と

なるよう、各委員会、協会としてもアピールして、長く働いてもらえる環境を作っていただけたらと思います。

エ 井上正義参与（福岡弁護士会 弁護士）のご意見

- 委員会によって、コロナ前に戻り活動できているものとそうでないものがあるのかなと受け止めました。病院の垣根を超えて、現場で課題となっていることを意識して研修会を実施していることは素晴らしいなと思いました。

ただ、弁護士として、「どうして？」という相談を受けたので、披露させていただきます。女性が乳房にしこりがあったので病院を受診したところ、乳癌であり全身に転移していると診断されました。しかし、2か月前に健康診断を受けた際には、病院から何も指摘を受けませんでした。そのことを医者に話し、健診時の画像を医者が見たところ、カテゴリー3で、「きちんと検査する必要があるね」と言われたそうです。

医療は、命を預かる仕事で大変素晴らしい仕事だと思います。人はミスするものですが、ミスをしてしまえば、患者さんのたった一度しかない人生に大きな傷をつてしまうということをぜひ意識してあげるべきなのかなと思ったところです。

オ 中西裕二参与（日本公認会計士協会北部九州会 公認会計士）のご意見

- しっかり医療の品質に関わる研修をなさっているのと、今回は医療政策やRPAの話など先を向いた幅広く良い研修で構成にされていると思います。医療政策全体から見たときに、皆様の活動にどう影響していくか常に意識することが、これから財政の面からも必要ではないか感じています。研修会でRPAを積極的に取りあげていることは素晴らしいことだと聞きました。

医療を安定的に提供するためのものが財務であって、公認会計士や税理士は数字をまとめ、アドバイスするのが仕事です。私達の業界で一

番の話題は、来年1月の改正電子帳簿保存法の施行と、インボイス制度が10月から始まったことです。どちらも、いきなり罰則等厳しいことは言わないと言っていますが、徐々に厳しくなっていくかとは思っています。そのため、近くにいる専門職を利用し任せ、医療に専念してもらうことが良いのではと思います。

カ 鶴加寿子氏（西日本新聞下崎参与の代理）のご意見

- 夫々の分野ごとに病院の垣根を越えて互いに研鑽していることを感じました。コロナ前に戻ったものと、そうでないものとあると受け止めましたが、来年以降活動が益々活発になれば、県内の医療体制の質の向上の貢献につながるのではと心強く思いました。

来年ですが、医療DXが進められていって、読者等一般の方レベルで見ますと、医師の働き方改革に非常に関心が高くなっています。もしかしたら、働き方改革で、夜間等に診てくれないのでは、救急で行った時にいつもの病院で診てくれないのではなどの心配の声が聞こえてきます。

働き方改革が始まり、医療体制、連携をどうフォローし合うかについては、まだ県内では協議中と聞いています、一般の患者さんが不安を少しでも和らげることができるような方法があれば、メディアを活用して情報発信していただきたいと思います。また、県民公開医療シンポジウム等協会の活動についても、新聞等広報を活用してもらうことができますので、ぜひ活用をお願いします。

- 最後に、平専務理事は、出席いただいた参与、報告を行った正副委員長及に謝意を表しました。続けて、毎年参与の皆様から御意見をいただくことが病院協会にとって励みになっていること、様々な角度から御意見をいただくことが大変有益であることに謝意を述べ、懇談会は終了しました。

謹賀新年

公益社団法人 福岡県病院協会 役員名簿

(役員任期：令和6年度定時会員総会終結時まで)

令和6年1月1日現在

役職名	氏 名	所 属 病 院 及 び 役 職
会 長	中村 雅史	九州大学病院 病院長
副 会 長	野村 政壽	久留米大学病院 病院長
副 会 長	田中 文啓	産業医科大学病院 病院長
副 会 長	一 宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 顧問
専務理事	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
総務理事	岩永 知秋	久山療育園 重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	壁村 哲平	福岡県済生会二日市病院 院長
理 事	岩崎 浩己	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	江頭 啓介	さくら病院 理事長
〃	於保 和彦	(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 院長
〃	小嶋 享二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	島 弘 志	社会医療法人天神会 副理事長兼総病院長
〃	谷口 雅彦	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 病院長
〃	津留 英智	社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	富 松 愈	医療法人富松記念会三池病院 院長
〃	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
〃	平 城 守	公立八女総合病院 企業長兼院長
〃	前原 喜彦	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃	増本 陽秀	飯塚病院 院長
〃	松 浦 弘	福岡県済生会福岡総合病院 院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
〃	渡邊憲太朗	医療法人西福岡病院 院長
監 事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 院長
〃	原 寿 郎	福岡市立病院機構 理事長
議 長	岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 顧問
副 議 長	樋口 雅則	福岡ハートネット病院 院長
顧 問	今泉暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林達比古	(一社)福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	中村学園大学・中村学園短期大学部 学長
〃	石橋 達朗	九州大学 総長
〃	岡留健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構 福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	令和健康科学大学 学長
〃	赤司 浩一	九州大学病院 第一内科教授

院長就任のご挨拶

医療法人碧水会門司田野浦病院
 病院長 後藤 貞夫



令和5年4月、泉 太前院長の後任として医療法人碧水会 門司田野浦病院の院長に就任致しました後藤貞夫です。福岡県病院協会機関誌の紙面をお借りして就任のご挨拶を申し上げます。

門司田野浦病院は、初代理事長・西内弘之先生により、昭和43年に開設された病院で、JR門司港駅の近くにあります。海岸から少し離れた高台に立地し、背後は山の緑、前面は周防灘、夜ともなれば暗い海の向こうに下関の灯瞬く夜景が見事、といった環境にあります。平成2年には、介護老人保健施設・光寿荘を併設しています。その後、同光寿荘を廃し、新たに介護医療院・光寿荘を付設しております。令和5年10月現在、門司田野浦病院・精神科240床、介護医療院北棟50床、介護医療院東棟45床・光寿荘95床となっています。

当院の特徴は、アルコール使用障害に対して、1病棟全体を充てていることです。それだけこの難病に注力しているということです。平成8年、三木好満先生（故人）が着任され、門司田野浦病院断酒会を発足されました。その後、北九州断酒友の会の門司田野浦病院支部となっています。

断酒会活動の一端を以下に簡単に紹介します。

毎日：ジョギング（6：30～7：00）

病院敷地内、または周辺をジョギング

毎週火曜日：ミーティング（14：00～14：45）

体験を語り合ったり、断酒の指針、規範などを全員で研修

毎週金曜日：ボランティア活動（9：00～10：00）

自治活動の一つとして、病院周辺の空き缶拾い

毎月第二日曜日：月例会（13：30～15：30）

退院された元患者さんも参加して、自己の体験を語る

毎月第一木曜日：行軍（8：00～16：00）

毎月1回、平均7～15km（片道）を集団で歩く

体力の維持・向上を目指すと共に、一人ではだめでもみんなで協力してやればできることを学ぶ。他者との共同作業を通じて、共に達成感を味わうことの喜び、爽快感を体験できる。こんな経験が、退院後の断酒の闘いにおいて、他者（家族など）との共闘、断酒に成功したときの達成感の共有などに大いに寄与する、と思いたい。この行軍は、断酒会の発足当時から今日まで、27年間絶ゆることなく続く、メインイベントの一つです。

毎年10月の第一日曜日：断酒会発足記念例会
 （12：30～16：00）

行政関係、地域断酒会、他県断酒会の皆様やご家族など、毎年200名前後の方々が参加し、体験談、特別講演に耳を傾けたり、アトラクションを楽しんだりします。

当院断酒会の成績を申し上げますと、平成14年から現在（令和5年10月）まで、入院患者数574名、重複入院患者数245名、述べ入院患者総数819名です。退院後社会復帰者は116名に及び、社会復帰率20.2%になります。まずまずの成績かなと自負しております。

最後になりましたが、私の自己紹介をさせていただきます。昭和42年に大阪大学医学部を、昭和47年に同学部大学院を卒業し、その後アメリカMissouri州のWashington大学医学部の研究員となり、Ribosomal RNAの代謝の研究に携わりました。昭和54年、産業医科大学の開学に伴い、生化学教室に奉職し、細胞老化及び細胞不死化の研究と教育に努力致しました。平成14年から小倉の小倉中井病院に勤務した後、令和5年4月に門司田野浦病院院長職に就任しました。私は主に介護医療院の患者さんを受け持っていますが、認知症の患者さんに日々接することの難しさ、大変さを痛感しております。しかし、病と闘う人を助けるのが医の使命と思い、日々の診療に精進しております。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当院での医療安全の取り組み ～特にTeamSTEPPS SBARに関して～

福岡赤十字病院 副院長・医療安全推進室長 永井 英司

当院での医療安全推進のために取り組みにつ
きまして、その一部について紹介します。

当院では、医療安全推進委員会の下部組織
として「急変対応」「TeamSTEPPS 推進」「転
倒・転落」「身体拘束低減」「DELTA（delirium
Team Approach）プログラム」のそれぞれの
ワーキンググループ（WG）を立ち上げ、積極
的に活動してきました。本年度からは更に「誤
嚥・窒息予防」WG を立ち上げ、高齢者等の誤
嚥・窒息予防の活動を推進しています。今回は、
その中でも TeamSTEPPS SBAR のこれまでの
取り組みについて述べます。

個人やグループが自分自身や他人との関係に
おいて、自由に意見を表明し、提案をすること
ができる心理的安全な環境は重要ですが、一方
で権威勾配等により行動や発言が躊躇される環
境下におかれ、良好なコミュニケーションにと
って心理的なバリアーが存在する場合がある
のも事実です。医療現場で事故の少ない職場環
境づくりには組織のなかで対人リスクを恐れ
ず、自由な発想を元に発言できる状況が必要で
す。TeamSTEPPS におけるコミュニケーション
は、必要な情報を的確に漏らさず伝えるため
の方策あり、SBAR、復唱、など組織内で共有
することですが、心理的安全な職場環境の整備
に役立つと考えられます。

チームの目的・目標は「チーム医療における
コミュニケーションを推進し、TeamSTEPPS
の定着を図る」事とし、構成メンバーは、院内
多職種で構成しました（表1）。

TeamSTEPPS で示されるコアスキルの中で
まずは、取り組む内容を絞り、SBAR、2 チャレ

表1 当院での TeamSTEPP WG構成メンバー

医師	5名（副院長1名を含む）
看護師	6名（看護副部長1名を含む）
薬剤師	1名
臨床工学技師	1名
放射線技師	1名
検査技師	1名
理学療法士	1名
栄養士	1名
ソーシャルワーカー	1名
事務職員	2名
事務局	3名（副院長1名 看護副部長1名 医療安全室事務職員1名）

ンジ、チェックバック（復唱）を選択しました。
SBAR に着目した理由としては、心理的安全な
職場環境の整備に役立つと考えたからです。

SBAR（S：Situation, B：Background, A：
Assessment, R：Recommendation）とは、迅
速かつ適切なコミュニケーションを促進するた
めのスキルで、SBAR での報告・連絡・相談に
おいては、重要なことを漏れなく簡潔に伝える
ことが可能となります。

■ 院内でのSBAR普及のための活動

まず、2017年に講師をお呼びしてWGメン
バーを対象に講義を行って頂きました。続け
て2018年度には当院でSBAR研修を開催しま
した。SBARの基本的な内容を講義形式で説明
し、模擬事例を用いてグループで検討していま
す（図1）。研修対象者は、すべての部門・部



図3 ピンバッジ（左）とベストSBAR賞の表彰

験することができます。

2021年度からはSBARをより身近にする事を目的に日々の記録でSBAR形式を意識し、

会議での報告、資料作成、インシデントレポート作成でも活用するようにしています。2022年度からハリーコール報告書、ラピットレスポンス報告書などもSBAR形式の書式に改めることで情報伝達が、簡潔によりスムーズになっています。

当院でも毎年、医師は勿論のこと多くの職員の入れ替えがあり、継続したSBAR形式の報告を意識するためにSBARリレーを毎年実施し、当院の文化としての醸成を目指しています。モチベーション向上のために、TeamSTEPPSワーキングメンバーがSBAR報告事例の中で、報告内容が的確で優秀と判断したものをベストSBAR賞として表彰し、表彰状とともに、当院オリジナルのピンバッジをプレゼントしています（図3）。このピンバッジは、院内活動報告会での優秀賞受賞時の賞金を原資にTeamSTEPPS WGメンバーで作成し

たもので、職員には大変好評です。

TeamSTEPPS推進がもたらしたチーム医療への効果については、スムーズなコミュニケーションの推進に繋がっています。コロナ禍で職員同士のコミュニケーションの機会は少なくなっていましたので、その質の向上は重要と考えます。継続した取り組みを行うことで「患者安全のために大切なことを遺漏なく的確に伝えることができる、それを安心して伝える事ができる。」という意識を共有することが出来るようになったと考えます。

■ 最 後 に

今回当院でのTeamSTEPPS特にSBAR推進の取り組みについて述べました。チーム医療の推進のために心理的安全性の担保は不可欠であり、組織内での自由なコミュニケーション、報告・相談はその礎となります。今後も様々な方策を用いて心理的安全性が高い組織の構築を目指したいと思っています。

子宮頸がん予防（HPV ワクチンと子宮がん検診） についての啓発活動 ～当院での取り組み～

公立学校共済組合九州中央病院
婦人科部長

衛藤 貴子

1. 子宮頸がんとその予防法の 基本的事項

子宮頸がんの95%以上は子宮頸部でのHPV（ヒトパピローマウイルス）の持続的感染が原因あり、前がん状態（上皮内腫瘍）を経て数年～数十年で浸潤がんへと進行します。頸がんの一次予防はこのHPV感染を防ぐHPVワクチンで、二次予防は子宮がん検診、前がん状態のうちにみつけて治療することで頸がんへの進行を予防します。

性的活動があれば男女とも多くの人が生涯に一度はHPVに感染しています。HPVには200以上の型があり、すべてをワクチンで予防することはできませんが、2価4価ワクチンでは頸がんの約65%を、9価ワクチンでは約90%を予防することができます。ちなみに、男性にもHPVによる中咽頭癌や肛門癌、陰茎癌などが発症することから、男女ともに公費接種となっている国は39か国にのぼります。

2. HPV ワクチンをめぐる経過

HPV ワクチンは2013年4月に定期接種となりましたが、接種後の「多様な症状」が報告され積極的勧奨が控えられました。その後の調査研究で「安全性に特段の懸念が認められないこと、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められた」ことにより、2022年4月に積極的勧奨が再開されましたが、接種率は低迷しています。

3. HPV ワクチンの安全性について 明らかになったこと

接種後の「多様な症状」は、全国疫学調査（祖

父江班）で、ワクチン接種歴のない人にも一定数みられることがわかりました。名古屋スタディという疫学調査では約3万人のアンケート回答が得られ、ワクチン接種の有無と多様な症状の有無には関連が示されませんでした。WHOも接種者において有意に頻度の高い重篤な有害事象はみつかっていないと述べています。

4. HPV ワクチンによる 高い子宮頸がん減少効果

世界中の110か国以上でHPV ワクチン接種がすすみ、接種世代での頸がんの減少が報告されつつあります。スウェーデンでの10～30歳の調査では、17歳未満での4価HPV ワクチン接種者は、非接種者に比し頸がんが88%減少しています。一方、日本では、2000年以降、子宮頸がんの罹患率が上昇しています。

5. 学校でのがん教育としての 子宮頸がん HPV ワクチン

学習指導要領にも「がんについても取り扱う」ことが盛り込まれ、文科省作成の“がん教育推進のための教材”（令和3年3月一部改）で「HPVの感染を防ぐ予防ワクチンの接種で将来の子宮頸がんを予防できる」ことも記載されました。子供たちはまだ“がん”といわれてもピンとこないでしょうけど、子宮がん検診は20歳からですが、HPV ワクチンは大人になってからの話ではありません。接種するのは「今」（医学的にいうと性交渉開始前）です。接種しなかった子供たちが、10年後に「やっぱり接種しよう」と思っても（すでに感染して）ワクチンの効果が低いかもしれません。

6. 接種する・しないを本人・家族が決めるための新しい情報が伝わっていない

厚生労働省が2023年1～2月に行ったアンケート調査で、「HPV ワクチン知らない・聞いたことがない」がHPV ワクチン接種対象者（小6～25歳）の28%にものぼります。また、接種対象者や保護者のうち接種したくないと考えている人の理由は「安全ではない」「判断する情報がない」「友人がうけていない」などでした（001126460.pdf [mhlw.go.jp]）。

日本では一生のうち頸がん罹患するのは76人に1人です。また、約70%あったHPV ワクチン接種率が積極的勧奨中止により0%に減ったことにより、頸がん死亡する女性が一学年あたり約1100人増えると計算されています（Yagi et al Sci Rep. 2020）。

HPV ワクチンがこれほど高い頸がん予防効果をもつことや、危ない副作用と思われた症状がワクチンとは直接の関連がなさそうであるといったことを知らないまま、「危なそうだから接種しない」と考えることは正しい選択ではないはずです。

7. 当院での取り組み

定期接種対象者は、HPV ワクチンについて

「学校から」情報を知りたいとアンケートで回答しており、対象者には学校からお知らせすることが効果的と思われます。宮崎市では全中学校で産婦人科医による出前講座が行われています。しかし、福岡県・福岡市教育委員会では実施の予定はないようです。

「知らない」がために予防の機会を失うことがないように、当院では、地域がん診療連携拠点病院の役割として、子宮頸がん予防（ワクチンと検診）についての啓発活動をおこなっています。キャッチアップ世代に対して近隣の大学での講義や、保護者世代が含まれる会社などでの社内研修会を行っています。90分の研修会でも、皆さんとても集中してお話を聞いてくださるので、逆にこちらが驚くほどです。

当院 web サイトには、広報誌「きなごっせ」の頸がん関連記事の抜粋や、30分ほどの動画の、だれでも健康講座「女性を子宮頸がんから守るために」をアップしています。

最後に、研修会の感想を、一部ですがご紹介します。当院婦人科外来では、接種者への説明に努めています。接種を迷っている方への相談や、職場や学校でワクチンについての説明を聞きたい！ 研修会希望！ などにも対応いたします。お気軽にお問合せください。

* 九州中央病院代表 TEL：092-541-4936
FAX：092-541-4540

研修会後のアンケートより抜粋

- ・頸がん検診を毎年受けているものの、頸がんがどのような流れでなるのか全く知らなかった。とても勉強になりました。この流れを知っていれば検診・ワクチンを受ける人はより多くなると思う。
- ・ワクチンをうたずタイミングを逃したままアラサーになってしまって「もう頸がんワクチンうってもそんなに意味なさそうだし何もできないや～」と考えていましたが、検診を2年に1回ちゃんと受けてがんになる前に対処できるようにしようと思えました。
- ・子どもたちに直接聞かせることができると、良いと思いました。
- ・HPVによる発症が女性特有の病気と思っていましたが、男性でも大いにあることがよくわかりました。
- ・ワクチンのあまりいいイメージがなかったので、今回のお話をきいて安心して娘にうたせようと思いました。
- ・報道によりHPV ワクチンに対してネガティブな印象をもっていたので、実際のデータにより接種の必要性が認識できた。また、男性も感染によるリスクがあることを知った。
- ・娘の接種で迷っていたので正確な情報がありがたかったです。
- ・日本の子宮頸がん率の高さにビックリしました。副反応等も怖いですが、接種することによるガンリスクが減る数にもびっくりしました。
- ・分かりやすい説明とテンポよく進めて下さり勉強になりました。一生のうち76人に1人は子宮頸がんになると聞いてとても驚きました。小学生の娘には今日の話をきかせて本人の意志を尊重したいと思います。小学生の息子には中咽頭がんの波が押し寄せる話を聞かせておきます。
- ・副反応ばかりが表立っていたが、ワクチンの重要性、認識が変わった。
- ・ワクチン接種の重要性と検査の必要性を数字で学ぶことができ、良かったと思います。

看護 の窓

自分で学ぶ人を育てていくための 環境づくり

地方独立行政法人福岡市立病院機構 香西 江利子
福岡市民病院 看護部長

令和5年4月1日付で看護部長を拝命いたしました香西江利子と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

福岡市民病院当院は204床（一般200床、感染症4床）の急性期病院で、第2種感染症指定医療機関でもあります。当院の理念には、「ここをつくした質の高い医療を通じてすべての人の尊厳を守ります」と掲げられています。この理念を実現するためには、患者さん一人一人に寄り添い、患者さんが抱えるさまざまな問題を解決するために真摯に努めることが必要です。看護部理念である「ふれあう看護」を実践しながら、他部門と連携して、質の高いそして満足していただける医療が提供できるように取り組んでいきたいと考えております。

看護部長就任からまもなく1年が過ぎようとしています。落ち着くことなく慌ただしい毎日を送っています。この半年間、看護部長としての日々の業務や参加する会議、お会いする方々など初めての経験ばかりでした。見るもの、聞くもの、触れるものが何であるか、まだその意味を理解するところまでには至っていません。学習者として、看護部長としての実践の結果から意味を見出し、成長していきたいと考えています。今回は、新任看護部長としてこれからの取り組みについて述べさせていただきます。

看護部長としての初めての業務は、病院ホームページでの看護部長挨拶でした。看護部理念

である「ふれあう看護」を実践していくために何が必要なのか、私は看護部長として何に取り組めば良いのかを考えました。そこでの私の答えは、看護師一人一人が自分の学びと向き合い主体性を持って自律的にキャリアをデザインし、実践していく中で成長していけるような環境をつくることでした。このような考えに至ったきっかけに、インストラクショナル・デザイン（ID）との出会いがあります。IDとは、教育を効果的・効率的・魅力的にするための体系的な方法論とされています。

IDを初めて知ったのは、4年前に参加した保健指導についての研修会です。研修会後に講師に臨床現場の教育が実践に結びつくことができているのはなぜかとの疑問を尋ねた際に、効果的に教育を行う方法があるとIDを紹介されました。学習内容には種類があり、種類によって効果的な指導方法や評価方法は異なることを知り、驚いたと同時にこれまで自分の思いで講義内容を決定し見様見真似で研修会を行ってきたことを反省しました。また、当時、私は臨床現場で教える側、学ぶ側どちらもが懸命に取り組むを行うにも関わらず、成果を出すことができずにどちらもが疲弊している姿を見て、何か解決策がないのだろうかと考えていたため、IDに対し興味を持ちました。それから、IDの学びを始めました。

IDの視点で当院の教育方法を見ていくと、研修後のゴールが明確になっていないことに気

づきました。「何ができるようになるのか」ということとその評価方法を明確にすることが必要であり、そうでなければ研修をすること自体がゴールとなってしまいます。当院では研修会後の評価として、受講者の研修に対する好感度などのアンケートは実施していますが、どのような知識やスキルが身についたのか、また学んだ知識やスキルをどのように仕事に活かしたのかという評価を実施している研修はわずかです。ゴールを明確にするには、どうすればよいのかと考えていくと、学習内容の種類はどうか、学習内容に適した指導方略になっているのか、そもそも研修が必要とされる対象に研修が行われているのかなど疑問がいろいろと湧き出てきます。今は、教育を担当する看護師長たちと一緒に、湧き出てくる疑問について意見を交わしながら改善策を考えています。課題は山積みですが、このように看護師長たちと一緒に悩みながら討議する時間は、悩むことが多い看

護部長としての業務の中では、とても楽しい時間です。

私がIDを学び始めた頃は、自分が抱えている臨床現場の問題の解決策を見つけるための答えを誰かに求めるような思いでいましたが、学びを進めるにつれ自分の学び方も変化しました。正解を求めるのではなく、複数の選択肢の中から自分なりの答えを出すために課題に取り組むことが少しずつできるようになったと感じています。急速に情報化やグローバル化が進み、複雑で変化の激しい社会の中で、学習に対する考え方も変化しています。また、医療においても働き方改革が進み、臨床現場でこれまで行っていた教育を見直す時期に来ていると思います。学習者がもっと学びたい、学び続けたいと思えるような環境を看護部長として、また一学習者として作っていきたいと思っています。皆様、ご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



いつも支えてくれる副看護部長、看護師長達と一緒に（前列中央が筆者）

龍、竜、ドラゴン、そして辰

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 顧問

多様な顔を持つ想像上の動物

龍は十二支に因んだ動物の中では唯一の想像上の動物である。龍伝説発祥の地古代中国においては、龍は麒麟、鳳凰、亀とあわせて「四霊」と言われる霊獣であり、歴代皇帝のシンボルともなっている（阿部禎著、干支の動物誌）。龍の起源としては、もう絶滅してしまっていて久しいが、古代中国の長江に棲息していたワニの一種（マチカネワニ。日本でも30～50万年前の地層から化石が発見されている）とする説もあるようだが、真偽の程は確かではない。

日本に伝わった龍も日照りが続く暑い夏に恵みの雨をもたらす神獣として描かれ、民間信仰の対象ともなっている。「竜神様」という言葉や地名は我々が良く知るところである。太古の昔は河川の氾濫や旱魃が続くと、竜神に生贄が捧げられていた。古事記に登場する櫛名田比売（日本書記では奇稲田姫、出雲国風土記では久志伊奈太美等与麻奴良比売命）の物語はその良い例であろう。

しかし霊獣とされる反面、龍は鹿の角、鬼の目、鷹の爪、さらには馬のような鬣を持ち、全身が鱗で覆われた怪物としても描かれ、畏怖の対象ともされてきた。龍という想像上の動物は、「自然の恵み」とこれと背中合わせの「自然の猛威」の形象化と考えてもよいのではないだろうか…。

「竜」という文字は「龍」の新字体であるが、古くから用いられてきた文字である。特に恐竜をはじめとする爬虫類の種名や分類名に用いられる saurus（トカゲという意味。Tyranosaurus という巨大肉食恐竜の名前は皆様もよく御存知のことであろう）の訳語として竜という字が用いられて以来、今日では龍とほぼ同様に広く用いられている。

逆鱗に触れる

「竜頭蛇尾」「画竜点睛」など、龍（竜）という文字を使用した熟語は数多く存在するが、その中で少しユニークなのが「逆鱗に触れる」という言葉であろう。これは古代中国の戦国時代（BC403年～BC221年）の法家、韓非（BC？年～BC234年？）著の韓非子の説難の篇に出てくる故事に由来する言葉である。

龍（竜）は体全体が81枚の鱗に覆われているのだが、顎の下にある1枚だけは逆さに生えているのだそうだ。この鱗のことを「逆鱗」と称するのである。龍は普段は人間に危害を加えることはないが、もし人が誤ってこの逆鱗に触れると忽ち激しく怒り出し、触った相手を殺してしまうという伝承である。この「逆鱗に触れる」という言葉は日本でも広く言い伝えられており、独裁的な組織の長を怒らせて左遷された場合などに、現在も頻繁に使用されていることは皆様よく御存知の通りである。

民主国家日本では新聞種になるような「逆鱗に触れた話題」は少ないが、この言葉の発祥の地共産党の一党独裁国家中国では、この種の話が枚挙に暇がない。中国革命初期の1930年頃から毛沢東と行動を共にし、朝鮮戦争では中朝連合軍を率いる國務院副総裁兼初代国防相という要職に就いて、文字通り毛沢東の盟友として活躍していた彭徳懷將軍が建国10年の式典を目前にした1959年9月に突然解任された。真相は長く闇の中にあったが、毛沢東死去後に権力を掌握した鄧小平が改革・開放路線へと舵を切った後にその真相が判明した。彭徳懷は1959年の夏に毛沢東主席に私信を送り、大躍進政策（毛沢東の誤った政策で多数の餓死者を出したことで有名）の問題点を指

摘し毛沢東の逆鱗に触れてしまったのである。

彼は紅衛兵から暴行を受けて下半身不随となり、江青の医療服従専案下に置かれた。全ての窓を新聞紙で覆われた病室に8年間余り監禁され、最後は直腸癌に罹患するも治療を受けることが出来ず、1974年11月に下血と血便にまみれながら死去したということである。

これはもう昔話で済まされる話ではないように私は考える。それから64年が経過した2023年、中国では就任してまだ1年にも満たなかった秦剛外務大臣と李尚福国防相の二人が突然解任された。どちらも習近平国家主席によって大抜擢されてその職に就いたばかりの「中国の顔」であった。しかしその理由は全く公表されていない。私が妄想しているのは、習近平の看板政策「一带一路」の問題点について提言を行い、「習近平の逆鱗に触れた」のではないかということである。

同年夏に新聞紙上を賑わしたもう一つの話、プーチンの料理人とまで呼ばれていた側近中の側近エフゲニー・プリコジンの暗殺事件（私は単なる事故死ではないと確信している）も、「プリコジンがプーチンの逆鱗に触れたため」と解釈するのが最も適切であろう。

韓非子には書かれていないが、「独裁者の逆鱗は歳月が経過するとともにその数が倍増し、感度も鋭敏になる」と断言できるのではないだろうか…。

ドラゴン (dragon)

プロ野球の中日ドラゴンズという球団名がその良い例であると思うが、「龍（竜）の英語訳が即ち dragon」というのが多くの日本人が持っている感覚であるように思う。

しかし実際は、東洋の龍と西洋の dragon とでは少しニュアンスが違ってくるようである。dragon の語源は古代ギリシャ語の drákōn（ギリシャ文字は難しいのでラテン翻字で示す）であり、その本来の意味は大蛇や錦蛇ということである。キリスト教の世界では、dragon という想像上の動物は悪の象徴とされているようであり、聖ミカエルや聖ゲオルギオスによるドラゴンスレイヤー（龍殺し）の伝説は、邪悪との戦いを象徴しているのである。すなわち「dragon には龍が持

つ霊獣のイメージは皆無」と言っても良いようである。中国版ウィキペディアで dragon を調べると、「欧洲文化中的龍」と長ったらしい言葉で表現し、龍（竜）と差別化しているようである。

しかし龍も dragon も実在の動物ではなく、想像上の動物であることに違いはない。中世になり東西の文化交流が深まってくると、「鱗に覆われて有翼で空を飛び、火を噴く dragon」も西洋の物語の中にもちらほら登場してくるようである。

21世紀も終わり頃になれば、現在とは少しイメージの異なる龍（竜）や dragon が登場し、現在はガラガラヘビ（diamond・back）やアオカケス（blue jay）はいても dragon は存在しない米国メジャーリーグに、Dragons という名前の球団が創設されているかも知れない。

辰（たつ、しん）

白川静博士著の常用字解によると、辰という字は蜃（はまぐり）という字の基の字で、貝（はまぐり等）が殻から足を出して動いている形を象し、「動く」という意味を持つということである。すなわち子宮の中で胎児が動くのが娠、口が動くのが唇、手が動く（動かす）のが振という字で表現されるということである。

今から12年前の壬辰の年（平成24年）は、米国ではオバマ大統領が再選され、中国では胡錦濤主席から習近平主席へと代替わりした。ロシアではプーチン首相（2000年に大統領に就任していたが、憲法の規程で2期終わったところで首相に就任していた）が大統領に返り咲いた年である。

今年の申辰の年はどう「動く」のであろうか？プーチン、習近平の二人の独裁者が君臨し続ける構図は変わらないと思うが、問題は今年選挙がある米国と台湾そして日本であろう。高齢のバイデン大統領が再選されるのか、トランプが返り咲くのか甚だ微妙である。支持率が低迷する岸田文雄首相が続投できるかどうか予断を許さない。混沌の度を深める国際情勢はますますもって「一寸先は闇」の状態にある。

2024年（令和6年）が、平和で安寧秩序の年であることをただただ祈念するのみである。

人体旅行記 乳房（その十九）

国立病院機構都城医療センター 吉住 秀之
院長

1806年に華岡青洲が乳癌の全身麻酔手術を行って半世紀少し後の1866年に今から見れば遺伝性乳癌と考えられる症例が報告されています¹⁾。しかしそれを遡ること一世紀の1757年にフランスの外科医ル・ドランは、19歳の修道女の右乳癌について記載しています²⁾。彼女の祖母と祖母方の叔父も乳癌で死亡していることから、患者は自分の病が家族の血に由来するものであり、生まれつき癌の素地があると彼女は固く信じていたようです。しかし診断したル・ドランは、それを思い込みであると断じました。癌を宿命論的に解釈した彼女は、いったんは手術を拒否しますが、最終的には手術を受けています。病気が「血」として体に染みこんでいるなら、局所的な癌を手術したところでどうにかなるものではないという考えだったのかも知れません。「血」は宿命という観念は現在よりずっと強固なものだったでしょうが、医学はこれに抗い制御しようとして進歩してきたともいえるでしょう。

分子遺伝学の進歩により1990年に17番染色体と連鎖していると報告された家族性性乳癌および卵巣癌の遺伝子が、熾烈な遺伝子ハンティング競争の結果三木義男らによりBRCA1として単離されScience誌に報告されたのは1994年のことでした³⁾。掲載当初から遺伝子検査の将来や特許についての議論がさかに行われるくらい、専門家の間ではビッグニュースでしたが、一般社会でこの遺伝子が耳目を集めたのは、何と言ってもハリウッドの大女優アンジェリーナ・ジョリーが2013年5月14日のニューヨーク・タイムズ紙に「私の医学的選択」という記事⁴⁾を掲載したことでしょう。彼女の母親は乳癌と卵巣癌に罹患し、56歳で死亡しています。彼女の祖母も卵巣癌で死亡しているこ

とから、遺伝子検査を受けBRCA1遺伝子変異が陽性と判明し、予防的両側乳房切除術を受けたという経緯を語ったものでした。同年の5月20日には日本経済新聞が「国内でも乳房予防切除 がん研有明病院が倫理委に申請」という見出しの生地を掲載しています。実際には発症リスクを低減させる処置なので、「予防」とするのはどうかと思うのですが、それくらいインパクトを与えたということでしょう。翌年彼女が主演の『マレフィセント』が公開されました。その中で彼女は魔女を演じ、誕生した王の娘に16歳の誕生日までに糸車の針に指を刺して死ぬという呪いをかけるのですが、彼女自身BRCA1遺伝子変異により乳癌発症の呪いをかけられていたとも言え、どのような思いで役を演じていたのかと考えてしまいます。2015年には彼女はさらに予防的両側卵巣卵管切除術も受けることになります。

乳癌は、他の固形癌と違って女性や母親というセクシュアリティを刻印された器官であるため、乳房を発症前に切除してしまうことについて、大腸や甲状腺の予防的切除とはまた違った意味で医療倫理上しばしば問題となります。先手必勝とはいいますが、いつそれをどのような方法で行うのかについては十分な検討が必要です。

- 1) Broca P. (1866) Traité des tumeurs. Paris: Asselin. メンデルの法則の発見が1865年、再発見が1900年ですからまだ遺伝という概念は確立していませんでした。
- 2) Le Dran H. Mémoire avec un précis de plusieurs observations sur le cancer. Mém Acad R Chir, 1757; 3: 1-54.
- 3) Miki Y, et al. (1994) A strong candidate for the breast and ovarian cancer susceptibility gene BRCA1, Science; 5182: 66-71.
- 4) Angelina Jolie. (2013) My Medical Choice. The New York Times, May 14.

◎ 令和5年度 第8回理事会

日 時 11月14日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 新型コロナウイルスに係る対応について
 - (4) 地域医療構想について
 - (5) 「ACPおよびDNAR取組の現状と課題に関するアンケート調査」協力依頼について
 - (6) その他
3. 会議報告
 - (1) 令和5年度第2回福岡県看護職員確保対策協議会
 - (2) 令和5年度第2回福岡県医療費適正化推進委員会
 - (3) 令和5年度第4回福岡県医療対策協議会
4. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡 (5) その他

◎ 事務長会運営委員会

日 時 11月16日（木）午後3時〈会議室〉

議 題

1. 協議事項
 - (1) 9月研修会の振り返りについて
 - (2) 諸手当について
 - (3) 第8次医療計画（5事業から6事業）について
2. 報告事項

◎ 11月研修会〈参加数 68名〉

日 時 11月29日（金）午後3時

〈天神スカイホール メインホールA〉

演 題 『コミュニティホスピタル構想で中小病院を元気に』

講 師 医療法人博愛会 額田病院
院長 本田 宜久 氏

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 12月1日（金）午後3時〈会議室〉

議 題

1. 協議事項
 - (1) 11月研修会の振り返りについて
 - (2) 2024年度診療報酬改定について
 - (3) チーム医療、多職種連携について
 - (4) 地域医療構想について
2. 報告事項

◎ 令和5年度 第9回理事会

日 時 12月12日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 新型コロナウイルスに係る対応について
 - (4) 地域医療構想について
 - (5) その他
3. 会議報告
 - (1) 福岡県感染症対策連携協議会医療専門部会
 - (2) 第6回診療報酬検討委員会
4. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡 (5) その他

第88回 理事会報告

日 時 令和5年12月5日(火)16:32~16:56

場 所 オリエンタルホテル福岡
博多ステーション2Fフェスタ
(福岡市博多区博多駅中央街4-23)

出席者(敬称略)

会 長 中村

副会長 一宮、野村

理 事 平専務理事、岩永総務理事、伊東財務理事、
壁村企画理事、岩崎、於保、谷口、
津留、富松、中房、平城、増本、松浦、
山下、横倉、渡邊

計19名(理事総数24名)

監 事 野村、原

議 長 岡嶋

副議長 樋口

顧 問 今泉、河野

I 行政等からの通知文書

平専務理事から、特に報告等を要するものはない
との報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 令和5年度第1回リハビリテーション研修会
岩永担当理事から、第2回リハビリテーション
委員会と併せて報告があった。

日 時 令和5年10月7日(土)13:35~16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂

参加者 97名(会員93名、非会員4名)

基調講演 「リハビリテーション領域における
リスク管理の重要性」
13:40~15:00

講師 産業医科大学リハビリテーション
医学講座 教授 佐伯 覚

座長 医療法人共和会小倉リハビリテー
ション病院 院長 梅津祐一

シンポジウム

テーマ 「リハビリテーションにおけるリスク
マネジメント」

座長 国立病院機構九州医療センター

副院長 岡田 靖

講演1 「リハビリテーション部門管理者から」
15:15~15:25

医療法人誠仁会夫婦石病院 リハビリ
テーション部 部長 永友 靖

講演2 「リハビリテーション看護の視点から」
15:25~15:40

社会医療法人雪の聖母会聖マリアヘル
スケアセンター

主任看護師 藤本梨佐

講演3 「作業療法士の視点から」
15:40~15:55

関西福祉科学大学 保健医療学部

リハビリテーション学科

准教授 作業療法学専攻 有久勝彦

講演4 「言語聴覚士の視点から」
15:55~16:10

社会医療法人福西会福西会病院

リハビリテーション科 占部晴樹

総括討論 16:10~16:30

イ 第71回栄養管理研修会

平城担当理事から、報告があった。

配信日 令和5年10月14日(土)9:00~13:50

開催方法 Web配信(Zoomウェビナー)

参加者 114名(会員90名、会員外21名、学生
3名)

テーマ 「最新の高齢者に対する栄養管理」

講演1 「健康長寿をめざした糖尿病診療」
9:00~10:30

久留米大学医療センター

糖尿病センター長 和田暢彦

講演2 「高齢化に対応した慢性腎臓病の栄養
管理と治療戦略」10:35~12:05

医療法人原三信病院

腎臓内科部長 満生浩司

講演3 「高齢者に寄り添う栄養サポートを実践しよう！ ～各ガイドライン等を踏まえた糖尿病と慢性腎臓病の栄養管理～」
12：20～13：50
医療法人若葉会九州鉄道記念病院
栄養士室主任 松島昌子

ウ 第2回リハビリテーション委員会

日 時 令和5年11月28日(火)15：30～
場 所 アーバンネット博多ビル4F
第一会議室

議 題

1. 令和5年度第1回リハビリテーション委員会・研修会報告
2. 令和5年度第2回リハビリテーション研修会の開催について
3. その他

【開催予定】

ア 令和5年度病院研修会

壁村担当理事から、説明があった。

日 時 令和6年2月7日(水)18：00～20：15
場 所 九州大学医学部百年講堂1階
大ホール

テーマ「業務効率化への取り組み ～人と人がつながる時間を増やすために～」

開会挨拶 公益社団法人福岡県病院協会 副会長
国家公務員共済組合連合会
浜の町病院 顧問 一宮 仁

基調講演 「診療報酬改定から見た業務の効率化について」

講師 (株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン シニアマネジャー
塚越篤子

座長 社会医療法人製鉄記念八幡病院
病院長 古賀徳之

特別講演 「医療職の働き方を考える ～看護協会の立場から～」

講師 公益社団法人福岡県看護協会
会長 大和日美子

座長 公益社団法人福岡県病院協会 専務理事
医療法人原三信病院 理事長 平 祐二
シンポジウム 「業務効率化に係る現状及び課題について」

福岡赤十字病院 院長 中房祐司
社会医療法人財団白十字会白十字病院
病院長 瀧野泰秀

産業医科大学病院

副院長兼看護部長 大松真弓

福岡和白病院

副院長兼事務部長 田上真佐人

座長 公益社団法人福岡県病院協会 顧問
国立病院機構東医療センター
名誉院長 上野道雄

公益社団法人福岡県病院協会 企画理事
福岡県済生会二日市病院
院長 壁村哲平

閉会挨拶 公益社団法人福岡県病院協会 理事
医療法人西福岡病院
院長 渡邊憲太朗

Ⅲ 収益事業、法人事務等関係

1 報告事項

【開催結果】

(1) 各種委員会・研修会関係

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋編集長から、来年1月のほすびたる編集委員会と併せて説明があった。

日 時 令和5年11月14日(火)17：45～

場 所 福岡県医師会館2F 事務局
及びWEB参加

議 題

1. 11月号の現況について
2. 1月号の編集計画について
3. 令和6年年賀広告の掲載について

イ 経営管理委員会

津留担当理事から、報告があった。

日 時 令和5年11月30日(木)14：15～

場 所 済生会福岡総合病院

議 題

1. 委員の交代について
2. 令和5年度第1回経営管理研究会の開催について

【開催予定】

ア ほすぴたる編集委員会（岡嶋編集長）

日 時 令和6年1月9日（火）17：45～

場 所 福岡県医師会館2F 事務局

及びWEB参加

議 題

1. 1月号の現況について
 2. 3月号の編集計画について
 3. 令和6年度表紙の色について
 4. 令和6年度「ほすぴたる」発刊回数について
 5. 令和6年度「ほすぴたる」制作・出版契約について
- (2) 第87回理事会議事録（案）について
平専務理事から、議事録署名人である中村会長、野村及び原監事に内容等に問題がないことを確認してもらっていると説明があり、承認された。
- (3) 9、10月収支報告について
伊東財務理事から、報告があった。

(4) 会員の變更について

北九市立門司病院（北九州市門司区）

廣瀬宜之 前院長 ⇒ 高木陽一 院長

一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院（北九州市小倉北区）

永田 泉 前病院長 ⇒ 腰地孝昭 病院長
特定医療法人敬愛会新田原聖母病院（行橋市）

大北泰夫 前理事長 ⇒ 安田 浩 理事長
朝倉医師会病院（朝倉市）

山田研太郎 前院長 ⇒ 志波直人 院長

村上華林堂病院（福岡市西区）

司城博志 前病院長 ⇒ 山田 猛 院長

医療法人社団朝菊会昭和病院（福岡市西区）

坂本道雄 前院長 ⇒ 坂本良平 院長
平専務理事から、会員変更届を受理した6病院について報告があった。

- (5) 第27回福岡県作業療法学会の名義後援について
平専務理事から、五役会で検討を行い、名義後援を承認したとの報告があった。
- (6) 令和6年度県民公開医療シンポジウムについて
平専務理事から、令和6年度の県民公開医療シンポジウムについて五役会で検討を行い、横倉理事に運営委員長を依頼し承諾を得ていること、令和6年8月24日（土）に久留米シティプラザにて開催予定であるとの説明があった。
- (7) 「地域包括ケア社会における高齢者救急搬送・受入れのあり方に関する調査研究（日本救急医療財団令和5年度補助金事業）」ACP及びDNAR取組の現状と課題に関するアンケート調査について（協力依頼）
平専務理事から、北九州市立八幡病院の伊藤重彦顧問から、自身が代表研究者である標記調査研究に関し、アンケート調査への協力依頼があり、承諾したことの報告と調査への協力依頼がなされた。

2 協議事項

- (1) 理事の途中辞任について
平専務理事から、「岩崎副会長が、本年11月末で福岡大学病院長を退任され、同日付で当協会理事を辞任。12月から理事が1名欠員となるが、来年6月に役員改選を控えているため、理事の補充選任は行わない」と提案がなされ、全会一致で承認された。
- (2) カネミ倉庫(株)との油症治療費の支払いに関する契約について
平専務理事から、同社からの願い出について

説明が行われ、契約更新を行うことが承認された。

3 行事予定

平専務理事から、来年2月までの行事予定について報告があった。

(1) 令和5年12月

ア 五役会

日 時 令和5年12月12日(火) 18:00～

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局

(2) 令和6年1月

ア ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和6年1月9日(火)

① 17:45～ ほすびたる編集委員会

② 18:00～ 五役会

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局

(ほすびたる編集委員会はハイブリット)

イ 第27回四県病院協会連絡協議会

日 時 令和6年1月26日(金) 15:00～17:00

※終了後、懇親会あり

場 所 山口グランドホテル

(山口市、新山口駅徒歩3分)

(3) 令和6年2月

ア 令和5年度病院研修会

日 時 令和6年2月7日(水) 18:00～20:15

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F

大ホール

イ 五役会

日 時 令和6年2月13日(火) 18:00～

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局

ウ 第89回理事会

日 時 令和6年2月27日(火) 16:00～

場 所 福岡県中小企業振興センター 501号室

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

謹賀新年

2024

掲載は受付順にさせていただきました。



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 中村雅史

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 野村政壽

〒830-0011
久留米市旭町67番地
電話 (0942)35-3311(代) FAX (0942)32-6278
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail kanrika@kurume-u.ac.jp



産業医科大学病院
Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 田中文啓

〒807-8556
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
電話 (093)603-1611(代) FAX (093)691-8892
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/>
E-mail byokan@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 谷口修一

〒810-8539
福岡市中央区長浜3丁目3番1号
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>
E-mail info@hamanomachi.jp

医療法人 **原三信病院**
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**
院長 **原 直 彦**

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 - 8
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 **三 浦 伸 一 郎**

〒 814-0180
福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



社会福祉法人 **福岡県済生会支部**
福岡県済生会二日市病院

院長 **壁 村 哲 平**

〒 818-8516
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>

医療法人社団福光会

福 田 眼 科 病 院

理事長 **福 田 恭 江**
病院長 **江 島 哲 至**

〒 814-0013
福岡市早良区藤崎 1 丁目 24 番 1 号
電話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649
E-mail fukudaganka@nifty.com



宗像医師会病院
MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 **伊 東 裕 幸**

〒 811-3431
福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016
URL <http://www.mmah.jp>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福岡市立こども病院
Fukuoka Children's Hospital

院長 **楠 原 浩 一**

〒 813-0017
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300
URL <https://childhp.fcho.jp>



公立学校共済組合
九州中央病院
Kyushu Central Hospital

病院長 **前 原 喜 彦**

〒 815-8588
福岡市南区塩原三丁目 23 番 1 号
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540
URL <https://www.kyuchu.jp>



福岡ハートネット病院
FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

病院長 **樋 口 雅 則**

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 - 50
電話 (092)881-0536
FAX (092)883-8761

当院のホームページ



社会医療法人財団 白十字会
白十字病院

病院長 **潤 野 泰 秀**

〒 819-8511
福岡市西区石丸 4 丁目 3 - 1
電話 (092)891-2511 FAX (092)881-4491
URL <http://www.fukuoka.hakujyukai.or.jp>
E-mail hakujyujik@hakujyujikai.or.jp



社会医療法人 喜悦会
那珂川病院

理事長 **下 川 敏 弘**
院 長 **吉 村 寛 志**

〒 811-1345
福岡市南区内向新町 2 丁目 17 - 17
電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460
URL <http://www.nakagawa-hp.com>



社会福祉法人
バプテスト心身障害児(者)を守る会
久山療育園重症児者医療療育センター

理事長 **宮 崎 信 義**
センター長 **岩 永 知 秋**

〒 811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
電話 (092)976-2281
FAX (092)976-2172



医療法人 **つくし会病院**

理事長 **中 村 奎 吾**
院 長 **野 本 健 一**

〒 816-0902
大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号
電話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474
URL <http://tsukushi-kai.com/>
E-mail general-tsukushikai@awa.bb1q.jp

ih 飯塚病院

innovate and evolve

院長 増 本 陽 秀

〒 820-8505
飯塚市芳雄町 3 番 83 号
電 話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744
URL <http://aih-net.com>

創立 69 周年 (1955 年創立)
救急病院 開放型病院 臨床研修病院指定



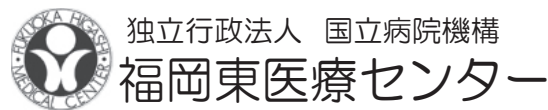
理事長 安藤 文英
院 長 渡辺 憲太郎

〒 819-8555 福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
TEL.092-881-1331 FAX.092-881-1333
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>
Mail jim@nishifukuhp.or.jp



理事長 津 留 英 智
院 長 田 山 慶一郎

〒 811-3298
福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1
電 話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
URL <http://www.suikokai.or.jp>



院 長 中 根 博

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 - 1 - 1
電 話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775
URL <https://fukuokae.hosp.go.jp>



病院長 塚 本 浩

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電 話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <https://shin-kokura.kkr.or.jp>
E-mail kkr-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



院 長 小 嶋 享 二

〒 818-0125
福岡県太宰府市五条 3 丁目 8 番 1 号
電 話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
URL <https://www.dazaifu-hsp.jp>
E-mail info@dazaifu-hsp.jp



田川市立病院

田川市 鴻江俊治
病院事業管理者

病院長 松隈哲人

〒825-8567

福岡県田川市大字楠 1700 番地 2

電話 (0947) 44-2100 FAX (0947) 45-0715

URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>

E-mail shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp



医療法人 済世会

河野病院

KAWANO HOSPITAL

理事長 河野正美

院長 今泉暢登志

〒811-2413

福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139

電話 (092) 947-0611 FAX (092) 947-8598

URL <https://www.kawano-hp.com>

E-mail info@kawano-hp.com



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
なかばる

社会保険 仲原病院

Social Insurance Nakabaru Hospital

理事長 瓦林達比古

病院長 大神吉光

〒811-2233

福岡県糟屋郡志免町別府北 2 丁目 12 番 1 号

電話 (092) 621-2802 FAX (092) 623-2247

URL <https://nakabaru-hp.jp/>

E-mail nhp-contact@nakabaru-hp.jp



地域医療支援病院

糸島医師会病院

ITOSHIMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

病院長 富田昌良

〒819-1112

福岡県糸島市浦志 532 番地 1

電話 (092) 322-3631 FAX (092) 322-1206

URL <http://itomedhp.jp/>



日本医療機能評価機構認定病院
救急病院 指定自立支援医療機関 (更生医療)

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉健三

院長 大内田昌直

〒837-0916

大牟田市大字田隈 950 - 1

電話 (0944) 56-1119 FAX (0944) 56-2077

URL <http://www.sugi-hosp.jp>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 堀内孝彦

〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号

電話 (092) 632-1111 FAX (092) 632-0900

URL <https://www.fcho.jp/shiminhp/>

E-mail shiminbyoin@fcho.jp



社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 谷口 雅彦

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <https://www.st-mary-med.or.jp/top.php>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <https://www.st-mary-health.jp>



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州 市立医療センター

Kitakyushu Municipal Medical Center

理事長 中 西 洋 一

院 長 中 野 徹

〒 802-8561

北九州市小倉北区馬借二丁目 1 - 1

電話 (093)541-1831 FAX (093)533-8693

URL <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>



医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江 頭 啓 介

院 長 江 頭 省 吾

〒 814-0143

福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号

電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570

URL <http://www.sakurahp.or.jp>



医療法人徳洲会

福岡徳洲会病院

Fukuoka Tokushukai Hospital

院 長 乗 富 智 明

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

電話 (092)573-6622 FAX (092)573-1733

URL <https://www.f-toku.jp>



社会医療法人

弘恵会 ヨコクラ病院

理事長 横 倉 義 武

院 長 横 倉 義 典

〒 839-0295

福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2

電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045

URL <https://yokokura-hp.or.jp>

E-mail info@yokokura-hp.or.jp



社会福祉法人 済生会支部

福岡県済生会福岡総合病院

院 長 松 浦 弘

〒 810-0001

福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号

電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185

URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp



福岡大学西新病院
Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 **山 本 卓 明**

〒 814-8522
福岡市早良区祖原 15 番 7 号
電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398
URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院 長 **中 房 祐 司**

〒815-8555
福岡市南区大楠3 丁目1 番1 号
電話(0570)03-1211 FAX(092)522-3066
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



公立八女総合病院
Yame General Hospital

院 長 **平 城 守**

〒 834-0034
福岡県八女市高塚 540 番地 2
電話(0943) 23-4131 / FAX(0943) 22-3185
URL <https://www.hosp-yame.jp>



医療法人社団 筑山会
松 岡 病 院
Matsuoka

理事長 院 長 **松 岡 嘉 宣**

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926
URL <http://www.chikuzankai.com/>



医療法人 社団 俊聖会
甘木中央病院
SHUNSEIKAI

理事長 **堀 田 謙 介**

〒 838-0068
福岡県朝倉市甘木 667
電話 (0946)22-5550 FAX (0946)24-3572
URL <https://www.amagichuuou-hp.jp>



嘉麻赤十字病院

日本赤十字社

院 長 **小 野 洋**

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1237 番地
電話 (0948)52-0861 FAX (0948)52-1927
URL <https://www.kama-jrc.jp>
E-mail info@kama.jrc.or.jp



理事長 西野豊彦

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790
E-mail nishino1114@miracle.ocn.ne.jp



医療法人 成康会
堤小倉病院

院長 堤康博

〒 802-0835
北九州市小倉南区大字堀越 358 番地
電話 (093)962-1950 FAX (093)963-1075
E-mail horiko@lime.ocn.ne.jp



病院長 早川知宏

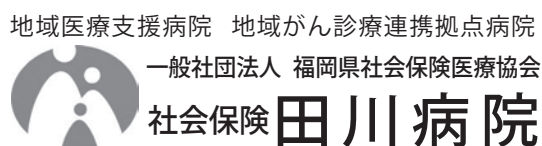
〒 807-0856
北九州市八幡西区八枝一丁目 7 番 20 号
電話 (093)603-0111 FAX (093)691-4831
URL <https://www.touchiku-hospital.com>



社会医療法人財団 池友会
香椎丘リハビリテーション病院
KASHIIGAOKA REHABILITATION HOSPITAL

院長 松尾義孝

〒 813-0002
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号
電話 (092)662-3200 FAX (092)662-3303
URL <http://www.kashii-rh.net>
E-mail info@kashii-rh.net



院長 黒松肇

〒 826-0023
福岡県田川市上本町 10 番 18 号
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540
URL <https://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp>



医療法人社団 正信会 水戸病院

理事長 増田住博
病院長 白橋 斉

〒 811-2298
福岡県糟屋郡須恵町大字旅石 115 番地 483
電話 (092)935-3755 FAX (092)935-6626
URL <https://s-mito.org>



公益社団法人福岡医療団

千鳥橋病院

福岡医療団
FUKUOKA IRYO DAN

CHIDORIBASHI HOSPITAL

病院長 **山 本 一 視**

〒 812-8633

福岡市博多区 5 - 18 - 1

電話 (092)641-2761 FAX (092)633-3311

URL <http://www.chidoribashi-hp.or.jp/>

E-mail soumu@fid.jp



社会医療法人財団 池友会
福岡和白病院

院 長 **富 永 隆 治**

〒 811-0213

福岡市東区和白丘 2 - 2 - 75

電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051

URL <https://www.f-wajirohp.jp>



原土井病院

HARADOI HOSPITAL

理事長 **原 寛**
院 長 **野 村 秀 幸**

〒 813-8588

福岡市東区青葉 6 丁目 40 番 8 号

電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059

URL <https://www.haradoi-hospital.com>



児嶋病院

KOJIMA HOSPITAL

院 長 **児 嶋 良 太**

〒 820-0045

福岡県飯塚市花瀬 87 番地 1

電話 (0948)22-1498 FAX (0948)28-8131

URL <http://www.kojima-hospital.com>



医療関連
サービスマーク認定

太陽セランドグループ会社

太陽セランドホールディングス株式会社 太陽セランド株式会社 太陽シルバーサービス株式会社 ジャパンエアマット株式会社 株式会社北九州シーアイシー研究所

お問い合わせ TEL0947-44-1847

Mail info@taiyoseland.co.jp Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

一番大切な思いやり...
「安心・安全・清潔」

TAIYO 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5

TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社

〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200

TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

皆様、あけまして、おめでとうございます。

ほすびたる第770号をお届けします。

今号は新年号となり、巻頭に3名の方より年頭のご挨拶をいただきました。

福岡県知事の服部誠太郎氏、福岡県医師会会長の蓮澤浩明氏、そして当福岡県病院協会の中村雅史会長に、新春へ向けての思いを述べていただきました。混迷する世界の中で、舵取りをされている皆様のお言葉を噛み締めたいと思います。

また、当協会の平裕二専務理事には、年末に開催されました、第13回福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会の報告を執筆いただきました。各種委員会の報告がなされ、当協会の幅広い活動が、あらためて認識されました。また、参与の方々からは当協会に対する高い評価をいただき、今後の要望などが述べられました。皆様のお言葉を嬉しく思うと同時に、身の引き締まる思いがいたしました。

会員の皆さまからは、今号にも、興味ある玉

稿をお寄せいただき、厚く御礼を申し上げます。また、多数の年賀広告を掲載をしていただきました。心より御礼を申し上げます。

ところで、昨年行われたWBC。日米による優勝争奪戦の最終回、何度みても、その感激は衰えません。大谷対トラウトの投打対決が実現したこと、そして、大谷がこの大打者を見事に三振に打ち取り優勝に導いた劇的な出来事は、昨今の若い人の言葉でいえば、「漫画 manga よりもすごい」ということでしょうか。私たちの年代の言葉では、「事実は小説より奇なり」、というところでしょうか。えっ、「ちょっとニュアンスが違う。古いなー」ですって？ それなら、こう呼びましょう。“アレ”ですよ、“アレ”。便利な言葉です。

ほすびたる編集委員会一同、今年も皆様のお役にたてる誌面づくりを目指して頑張っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(岡嶋泰一郎 記)

ほすびたる

第770号

令和6年1月20日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号

福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集
発行人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1

麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・岩永 知秋

壁村 哲平・伊東 裕幸

横倉 義典・大嶋 由紀

第64回診療情報管理研究研修会のご案内

開催日 令和6年2月15日（木）12：20～16：45

場所 九州大学医学部百年講堂1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）

参加料 会員病院 1人につき 3,000円
会員外病院 1人につき 4,500円

参加申込 WEBから申し込み（申込締切：令和6年1月31日（水））

講演 1) 「新バージョン病院機能評価受審からの診療情報管理（仮）」

講師：九州大学病院 病院長特任補佐 西山 謙

シンポジウム 2) 「診療情報の現状から今後の診療情報をみんなで考える」

シンポジスト：

久留米大学病院 腫瘍センター事務室 課長補佐 折岡 健太郎

嶋田病院 診療支援部 部長 今村 知美

国家公務員共済組合連合会浜の町病院

診療支援部診療情報管理室 室長 重松 千恵

長尾病院 診療情報管理室 主任 深見 知子

講演 3) 「医師・病院管理者からみた診療情報管理士への期待」

講師：国立病院機構九州医療センター 院長 岩崎 浩己

4) 全体質疑応答

司会：株式会社麻生飯塚病院 医事課 課長代理 原田 智史

令和5年度第1回経営管理研究会のご案内

開催日 令和6年3月4日（月）14：30～17：00

場所 九州大学医学部百年講堂1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）

参加料 会員病院 1人につき 3,500円（資料代500円含む）
会員外病院 1人につき 5,000円（資料代500円含む）

参加申込 WEBから申し込み（申込締切：和6年2月14日（水））

定員 300名（先着順に受付定員になり次第締め切ります）

対象者 病院長、事務部長、看護部長、医事課長、関係職員

テーマ 「2024年度診療報酬改定について（仮）」

講師：社会医療法人天神会 総病院長 島 弘志